

**OECD 日本イノベーション教育ネットワーク**  
Japan Innovative Schools Network (ISN) supported by OECD  
＜ISN2.0 エンパワメント・パートナー（個人用）登録用紙＞

OECD 日本イノベーション教育ネットワーク<sup>1</sup>（正式名称：Japan Innovative Schools Network (ISN) supported by OECD）は、東京大学公共政策大学院に設置された、産学コンソーシアムです。2011年に東北で発生した東日本大震災からの復興支援プロジェクト「OECD 東北スクール(2012-2014)<sup>2</sup>」の後継プロジェクトとして、「地方創生イノベーションスクール 2030 第1期（以下 ISN1.0）(2015-2017)」の実践を支援し、2018年8月から「地方創生イノベーションスクール 2030 第2期（以下 ISN2.0）」を推進しています。

ISNは、これらの実践をベースに、21世紀に求められる教育開発（カリキュラム、教授法、教員養成等）を目指して、OECD（経済協力開発機構）と文部科学省の協力のもと、研究活動を進めています。これらの成果は、OECDが推進する Education2030 プロジェクトへのインプットとして、世界の教育専門家、学校ネットワークとの議論に使用され国際的に議論されている新しい学びのフレームづくりに貢献することをめざします。

この ISN2.0 を実践する生徒や先生方の活動支援や、この活動をベースにした教育研究にご関心をお持ちの方は、是非エンパワメント・パートナー(EP、応援団)として本活動に関わっていただき、お持ちのネットワーク、知識、経験を生かして、新しい教育システムの開発に貢献いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

### 1. ISN2.0 の実践

ISN2.0 では、ISN1.0 と同じく、中高生が、海外や地域・企業等の多様な主体と協働をしながら、2030年の地域課題に取り組む**国際協働型プロジェクト学習**を推進します。この取り組みを通して、生徒達は様々な発想力、民主的に決定していくプロセス、表現力、企画力、協働すること等を学び、結果として「21世紀に求められるコンピテンシー」を身に付け、そして同時に生徒の力をいかしながら地方の課題を解決する「地方創生モデルの創出」につなげることを目的としています。この地域の課題解決を目指した生徒主体のプロジェクトの成果は、2020年8月に日本で開催予定の国際会議の場で発表されます。

### 2. ISN2.0 の研究

ISN2.0 では ISN1.0 の経験を活かし、参加校・参加チームの中から、特に研究の中核となる研究校を定めることにより、実践と研究を効果的に結びつけ、ISN の関係者全員に実践事例や知見が蓄積されるような運営体制を構築します。現在、ISN2.0 では、地方創生イノベーションスクールの実践を通じて、①ISN1.0 参加者の追跡調査、②創造性/創造的問題解決能力の育成法と評価法、③探究学習の学びのプロセスを記録した e ポートフォリオ分析、④教科横断型また社会に開かれたカリキュラムに関するビデオリサーチ等の研究を推進すべく準備を進めています。

### 3. タイムプラン

2018年8月：ISN2.0 プロジェクト開始

2020年8月：生徒国際イノベーションフォーラム 2020@東京（約500名規模を想定、開催場所は今後検討）

\*実践プロジェクトの実施計画は、各参加校・チームで作成

上記の ISN2.0 プロジェクト期間中に、ISN 研究会議を年2回程度開催し、研究の進捗や関連した実践事例を共有し、

<sup>1</sup> ホームページ：<http://innovativeschools.jp/>

<sup>2</sup> ホームページ：<http://oecdtohokuschool.sub.jp/>

議論の場を設定します。現時点での研究会議の予定は以下の通りです。

- 2018年8月20-21日 第1回研究会@岡山龍谷高校
- 2018年12月 第2回研究会@福井大学
- 2019年3月 第3回研究会@東京大学・郁文館グローバル高校
- 2019年8月第4回研究会@福島大学
- 2019年12月第5回研究会@大宮国際高校
- 2020年3月第6回研究会@神戸大学附属中等教育学校
- 2020年8月生徒国際イノベーションフォーラム2020

#### 4. エンパワメント・パートナー(EP)とは？

ISNの活動の趣旨にご賛同いただき、これまでにお持ちの知識や経験、ネットワークや特技などを、この活動に生かしたい、応援したい、と思っ頂ける方なら、どなたでもご登録可能です。無理なくできる範囲での参加です。尚、EPの活動は、原則ボランティアであることを想定しています。

エンパワメント・パートナーの例：

- 将来教員になりたい、研究者になりたい、政策・行政に携わりたい、と考えている大学生・大学院生の皆様。
- 現場での経験を活かして、新しい教育開発に関わりたいとお考えの現職の教員の皆様。
- ご専門の知識（教育学以外も歓迎）を、新しい教育に生かしたいとお考えの、幅広い分野からの研究者の皆様。
- 新しい教育、人材育成のあり方に興味をお持ちの企業やNPOの皆様。
- 教育に興味があり、通訳や翻訳をサポート頂ける方

【登録書送付先・問合せ】 エンパワメント・パートナーへのご登録を希望される方は、以下の申し込み用紙に必要事項ご記入の上、運営事務局 [office@innovativeschools.jp](mailto:office@innovativeschools.jp) までメールでお送りください。

事務局管理番号： \_\_\_\_\_

お写真  
(別途ファイルでのご送信も可)

ISN2.0 エンパワメント・パートナー登録フォーム (個人用)

お名前 (よみがな)	
連絡先	住所 〒 _____  電話： メールアドレス：
ご職業・ご所属	
簡単なお経歴	
イノベーションスクール活動に関して、ご自身で貢献できると思われるスキル・専門、得意分野、興味のある分野 など	<input type="checkbox"/> ISN が実施する調査研究・研究開発に関わりたい (主に研究者の方々) <input type="checkbox"/> 先端的な教育実践の共有や教員研修・研究会議等に参加したい (主に行政や学校の先生方) <input type="checkbox"/> ISN2.0 参加チーム・参加校の活動を応援したい <input type="checkbox"/> その他 具体的な ISN に関するご興味、またどのように ISN の活動を応援したいと思われているか、記載ください。
使用言語	
推薦者・ご紹介者	
ご質問など	

※ 提出いただいた書類の個人情報は、本事業に関する手続のみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。

※ ISN、また各クラスターの求めるサポート・スキルに応じて、EPになっていただく方と、マッチングします。そのためマッチングの結果によっては、ご参加いただけない可能性もございますので、その点ご了承ください。

※ マッチング成立の際には、情報保護の確認書にあらためてサインをいただきます。